

# 寄宿舎便り



令和7年3月24日発行

第11号

文責 山平



1年間 ありがとうございました！！～令和6年度（2024年度）フィナーレ～

1年間、保護者の皆様には、寄宿舎運営への御理解と御協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

今年度は男子棟9名、女子棟5名でスタートしました。1日（土）に高等部卒業式があり、高等部3年生の4人はそれぞれの新たな道に向けて、笑顔で旅立っていきました。私は、年度途中の棟異動で全舎生と過ごせたこと、そして卒業生と将来のことを真剣に話をしたり、冗談を言いながら笑い合えたりしたことが、一番の思い出です。舎生の皆さん、ありがとうございました。

先日、県立ゆうあい中学校の卒業式を取り上げたテレビニュースを見ました。熊本発の夜間中学校1期生が卒業され、70代の方が答辞を述べられました。「『中学校はどうですか？』と尋ねられた時、私は『ものすごく楽しいです』と答えます。年齢や国籍の違いを超えて心を通わせ、1年間ともに助け合い、学びあうことができたことはとても幸せでした。」と言われている姿を見て、感動と共に、舎生の皆さんにそう思っていただけるような寄宿舎になっているといいなと心から思いました。寄宿舎は、遠隔地の方々への通学保障の場、自立を目指す場であるのはもちろんですが、多様な仲間関係を築くことができ、思いやりの心や考え方の違いにふれ、支え合いながら深い絆が生まれる大事な場所だと思っています。これからも、家庭を離れて寄宿舎で生活を送る仲間とのご縁を大切に、寄宿舎指導員一同努めてまいります。今年度1年間、本当にありがとうございました。（井上）



## 4月行事

9日(水)17:20～歓迎会、歓迎夕食会

14日(月)18:30～役員選出、こいのぼり飾り

17日(木)役員会(新旧引継ぎ)

21日(月)役員任命式、双葉会総会

※4月8日(火)～5月9日(金)個別面談・保護者懇談(新学期に日程のご相談をいたします。)

## 卒業生を囲む会

今年度の囲む会は、双葉会副会長の司会のもと、校長先生の挨拶と双葉会会の挨拶でスタートしました。まず在舎生と職員からの贈り物で、卒業生一人一人に向けて「思い出の写真と在舎生、職員からのメッセージ」の動画を作成しました。思い出の写真は、みんなで振り返ることができるようにナレーションを付けました。卒業生の成長を感じることや、様々な出来事を思い出すことができ、舎生からも「あ！思い出した」と声が上がりました。卒業生へのメッセージでは、在舎生、職員から心のこもった感謝の言葉や工夫を凝らした応援など、気持ちが伝わるものでした。卒業生へ贈る歌は、双葉会役員が選曲した「栄光の架け橋」を卒業生に秘密で3週間、練習をしました。当日は、一人一人とても大きな声で歌い、今までで1番の歌声を届けることができました。最後は、卒業生からの挨拶でした。みなさん、舎での頑張りや思い出や在舎生への応援など、立派な挨拶をされ、「いよいよ巣立つ」という実感が湧きました。在舎生、職員で準備した記念品は、卒業生のイメージに合う色とデザインにこだわった「名前入りハンドタオル」を贈りました。会後の夕食会は男女混合席で、どのテーブルも弾む会話が食事の終わりまで続きました。

今年度の卒業生を囲む会も、会に向か双葉会役員を中心に在舎生、職員一丸となって準備を頑張り、心温まる最高の会になったと思います。卒業生からは「いろいろな出来事を思い出せました。心に沁みました。歌がハモっていて良かったです。」などの声が聞かれ、みんなの思いが伝わったようで本当に良かったです。卒業生を見送ることは、とても寂しいですが、寄宿舎でともに過ごし、笑い合い、たくさんの素敵なお思い出ができたことに感謝しています。(山平)

### 卒業生を囲む会 フォトギャラリー





## 双葉会役員からの挨拶 双葉会会長



1年間、双葉会会長として活動させていただきました。私は5年間の寄宿舎生活の中で、歴代の役員の方々が行事で挨拶や司会を立派にやり遂げる姿に憧れて、自分もやってみたいなと思っていました。最後のチャンスである今年度、会長に就任できた時には、幸福感とやる気で胸がいっぱいでした。これまで開催したことのない男女棟合同のカラオケ大会や、盲聾学校合同の豆まきなど、新しい試みもでき、今後の双葉会の活動の礎になっていたら嬉しく思います。そして、副会長には、行事や舍生のみんなへの連絡などの仕事を協力して進めることができ、感謝するばかりです。最後に、皆さん1年間ありがとうございました。



卒業生への記念品ラッピング



マンドリン演奏会の宣伝



## 双葉会副会長



私は今年1年間、副会長として、行事の企画や準備、呼びかけ、司会進行などを行ってきました。司会をするのは、とても緊張し、初めは上手く言えないこともありました。次の行事からは、毎日読む練習をするようにして、上手に言えるようになりました。マンドリン協会の方からも「司会上手だったよ！」と声をかけていただき、とてもうれしかったです。副会長の仕事を通し、他の舍生や先生方との会話も増え、丁寧な言葉遣いができるようになってきました。また、責任を持って取り組むことや、会長と協力して取り組むことができました。上手くできたときは、少し自信がつきました。

私が副会長になろうと思ったのは、卒業生が卒業するときに、「寄宿舎が楽しかった～。」と思える1年にしたかったからです。最後の『卒業生を囲む会』で、卒業生から「いい想い出ができた。」「楽しかった。」とメッセージをもらいました。卒業生へのサプライズの出し物、贈り物も喜んでいただきました。今年1年、寄宿舎を盛り上げることができ、頑張って良かったと思いました。

副会長としていろいろなことを経験することができました。ありがとうございました。